

# 平成28年度定期作況報告

5月20日現在  
道総研根釧農業試験場

## I. 気象概況

前年11月から本年5月中旬までの気象の経過は、平年に比べておおむね次の通りである。

### 平成27年

11月：気温は上・下旬でやや低く、中旬で高かった。降水量は上旬で平年並、中旬で多く、下旬で極めて多かった。

日照時間は上旬で平年並、中・下旬でやや少なかった。

12月：気温は上旬でやや高く、中旬で高く、下旬で平年並であった。降水量は上・中旬で平年並、下旬で少なかった。

日照時間は上・下旬でやや多く、中旬で平年並であった。降雪が少なく12月中に根雪始には至らなかった。

### 平成28年

1月：気温は全旬で平年並であった。降水量は上・下旬でやや少なく、中旬で多かった。日照時間は上・下旬で平年並、中旬でやや少なかった。根雪始は1月14日で平年より31日遅かった。

2月：気温は上旬で平年並、中旬で高く、下旬で低かった。降水量は全旬で平年並であった。日照時間は全旬で平年並であった。2月20日の土壤凍結深は35cmで平年より14cm深く、積雪は38cmで平年より19cm少なかった。

3月：気温は全旬で平年並であった。降水量は上旬で少なく、中・下旬でやや少なかった。日照時間は上旬で平年並、中旬でやや多く、下旬で多かった。

4月：気温は上旬で高く、中旬で平年並、下旬で低かった。降水量は上・下旬で少なく、中旬でやや多かった。日照時間は上旬で平年並、中・下旬でやや少なかった。根雪終は4月1日で平年より9日早かった。

5月上旬：最高および最低気温は15.1および4.2℃で、それぞれ平年より1.2および1.4℃高かったため、平均気温は9.4℃で平年より1.4℃高かった。降水量は20.5mmで平年より25.8mm少なかった。日照時間は62.1時間で平年より10.7時間多かった。

5月中旬：最高および最低気温は17.8および4.7℃で、それぞれ平年より3.4および1.5℃高かったため、平均気温は11.2℃で平年より2.9℃高かった。降水量は26.0mmで平年より22.1mm少なかった。日照時間は77.2時間で22.6時間多かった。

各旬の気象の特徴は上記の通りであるが、寒候期（11月～4月）を平均すると気温・降水量・日照時間ともに平年並であった。12月中の降雪が少なく根雪始が1月になったこと、積雪が少なく推移したため土壤凍結深が深めであったことが特徴的であった。

季節調査

	平成27年			平成28年					
	初雪 (月日)	根雪始 (月日)	最深積雪 (cm)	2月20日			根雪終 (月日)	降雪終 (月日)	耕鋤始 (月日)
				土壌凍結深 (cm)	積雪 (cm)				
本年	10.25	1.14	79	35	38	4.1	4.30	5.9	
平年	11.16	12.14	79	21	57	4.10	4.26	5.6	
比較	△ 22	31	0	14	△ 19	△ 9	4	3	

注1) 平年値は前10カ年平均値

2) △は減を示す

3) 最深積雪は根雪期間中の値

平成28年度 気象表

年	月	旬	平均気温(°C)			最高気温(°C)			最低気温(°C)			降水量(mm)			降水日数(日)			日照時間(時間)		
			本年	平年	差	本年	平年	差	本年	平年	差	本年	平年	差	本年	平年	差	本年	平年	差
27	11	上旬	5.3	6.7	-1.4	11.0	12.0	-1.0	-0.4	1.1	-1.5	39.0	39.7	-0.7	3	3.4	-0.4	45.7	43.0	2.7
		中旬	5.4	2.9	2.5	9.0	7.8	1.2	2.0	-2.4	4.4	51.0	29.5	21.5	4	3.3	0.7	33.4	49.1	-15.7
		下旬	-0.3	0.8	-1.1	3.7	5.7	-2.0	-4.2	-4.5	0.3	70.0	17.5	52.5	5	2.6	2.4	36.7	53.2	-16.5
	12	上旬	-0.1	-1.1	1.0	4.6	3.4	1.2	-4.4	-6.5	2.1	34.5	35.7	-1.2	1	2.4	-1.4	64.4	49.0	15.4
		中旬	-0.2	-3.5	3.3	3.5	1.2	2.3	-4.5	-9.4	4.9	13.5	23.4	-9.9	3	3.4	-0.4	53.6	49.7	3.9
		下旬	-4.5	-4.2	-0.3	0.0	0.2	-0.2	-10.1	-10.1	0.0	0.5	25.8	-25.3	1	3.9	-2.9	64.1	50.9	13.2
28	1	上旬	-5.7	-5.8	0.1	0.2	-1.2	1.4	-11.9	-11.6	-0.3	0.5	15.7	-15.2	1	2.8	-1.8	60.1	51.1	9.0
		中旬	-7.6	-7.8	0.2	-2.3	-2.7	0.4	-13.6	-14.7	1.1	27.0	4.9	22.1	3	1.6	1.4	49.3	59.7	-10.4
		下旬	-7.8	-6.9	-0.9	-2.3	-1.5	-0.8	-14.5	-14.2	-0.3	1.0	13.2	-12.2	1	2.2	-1.2	62.0	56.3	5.7
	2	上旬	-7.3	-7.3	0.0	-2.3	-2.2	-0.1	-13.7	-14.6	0.9	5.0	8.4	-3.4	2	2.4	-0.4	67.6	60.2	7.4
		中旬	-3.3	-6.1	2.8	1.3	-1.3	2.6	-9.5	-13.0	3.5	6.5	15.1	-8.6	2	2.6	-0.6	61.1	54.7	6.4
		下旬	-7.4	-4.5	-2.9	-2.0	0.3	-2.3	-15.1	-11.7	-3.4	11.0	10.4	0.6	2	2.5	-0.5	54.5	48.5	6.0
	3	上旬	-4.1	-3.3	-0.8	0.8	1.1	-0.3	-10.7	-9.4	-1.3	4.0	28.7	-24.7	2	3.0	-1.0	61.5	53.2	8.3
		中旬	-0.4	-1.1	0.7	4.7	3.2	1.5	-5.7	-6.9	1.2	3.0	20.0	-17.0	2	3.0	-1.0	67.8	54.1	13.7
		下旬	-0.1	-0.3	0.2	4.8	3.9	0.9	-5.5	-5.2	-0.3	1.0	15.2	-14.2	1	3.8	-2.8	83.6	61.9	21.7
	4	上旬	3.8	1.4	2.4	8.1	5.7	2.4	-0.6	-3.3	2.7	19.0	39.2	-20.2	4	3.1	0.9	50.0	52.5	-2.5
		中旬	3.3	2.9	0.4	7.5	7.8	-0.3	-0.1	-1.7	1.6	34.0	20.8	13.2	4	2.9	1.1	42.9	53.7	-10.8
		下旬	4.0	6.1	-2.1	9.1	12.4	-3.3	-0.1	0.2	-0.3	18.0	43.5	-25.5	4	3.2	0.8	45.2	64.4	-19.2
	5	上旬	9.4	8.0	1.4	15.1	13.9	1.2	4.2	2.8	1.4	20.5	46.3	-25.8	3	4.3	-1.3	62.1	51.4	10.7
		中旬	11.2	8.3	2.9	17.8	14.4	3.4	4.7	3.2	1.5	26.0	48.1	-22.1	3	4.6	-1.6	77.2	54.6	22.6

備考) データはアメダス観測値(中標津). 平年値は前10カ年平均値.

## Ⅱ. 当 場 作 況

### 1. とうもろこし

作況：－

事 由

耕鋤始は平年に比べ3日遅かったが、その後天候に恵まれ播種床造成作業は順調に進んだ。播種は平年より6日早い5月20日に行われた。

品種名	播種期（月日）		
	本年	平年	比較
たちぴりか	5.20	5.26	△ 6
（ぱぴりか	5.20	5.24	△ 4

注1) 根釧農試定期作況圃場における調査結果に基づき、調査地点における平年との比較を示したもので、根釧地域全体の作況を表現しているものではない。

2) 当場のとうもろこし作況調査は、平成22年度より供試品種を「たちぴりか」に変更している。

3) 「たちぴりか」は、一部の作況調査項目について過去のデータ蓄積が不十分であるため、参考として「ぱぴりか」における調査結果を下段に記載する。

4) 平年値は、「たちぴりか」では前6カ年のうち最凶年の平成23年を除く5カ年の平均値、「ぱぴりか」では前7カ年のうち最豊年の平成22年および最凶年の平成21年を除く5カ年の平均値である。

5) △は減を表す。

## 2. 牧草

### (1) 採草型

#### チモシー単播

作況:1 番草 やや不良

#### 事由

根雪終わりは平年より9日早かったものの、積雪が19cm少なく、土壌凍結深が14cm深かったことから、萌芽期は平年よりも2年目草地で4日、3年目草地で10日遅れた。冬損程度は2年目草地では平年より小さかったが、3年目草地では雪腐大粒菌核病の影響で平年より大きかった。5月20日現在のチモシー草丈は、2年目草地で1cm長く、3年目草地で5cm平年よりも短かった。

以上のことから、現時点での作況はやや不良と判断される。

草地	草種	萌芽期(月日)			冬損程度(1-9甚)			5月20日草丈(cm)		
		本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
「ノサップ」2年目	TY単播	4.29	4.25	4	2.0	2.8	△0.8	31	30	1
「ノサップ」3年目	TY単播	5.3	4.23	10	4.0	3.4	0.6	27	32	△5

注1) 根釧農試定期作況圃場における調査結果に基づき、調査地点における平年との比較を示したもので、根釧地域全体の作況を表現しているものではない。

2) 平年値：平成21年～27年のうち、最凶年(2年目草地：平成21年、3年目草地：平成22年)と最豊年(2年目草地：平成22年、3年目草地：平成27年)を除く5ヶ年平均値。

3) △は減を示す。

## (2) 放牧型

### オーチャードグラス単播

作況:1 番草 平年並

#### 事由

根雪終わりは平年より9日早かったものの、積雪が19cm少なく、土壌凍結深が14cm深かったことから、萌芽期は「オカミドリ」の平年値と比べ2年目草地で3日、3年目草地で5日遅れた。冬損程度は「オカミドリ」平年値と比べ2年目草地では小さかったが、3年目草地では雪腐大粒菌核病の発生も認められ平年並であった。

5月20日現在のオーチャードグラス草丈は、2年目草地で35cm（「オカミドリ」2年目の平年値は30cm）、3年目草地で18cm（「オカミドリ」3年目の平年値は22cm）であった。

以上のことから、現時点での作況は並と判断される。

草地	草種	萌芽期(月日)			冬損状態(1-9甚)			5月20日草丈(cm)		
		本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
「ハルジマン」2年目	OG単播	4.29	—	—	1.0	—	—	35	—	—
「ハルジマン」3年目	OG単播	5.3	—	—	4.0	—	—	18	—	—
「オカミドリ」2年目	OG単播	—	4.26	—	—	4.0	—	—	30	—
「オカミドリ」3年目	OG単播	—	4.28	—	—	4.8	—	—	22	—

注1) 根釧農試定期作況圃場における調査結果に基づき、調査地点における平年との比較を示したもので、根釧地域全体の作況を表現しているものではない。

2) 平成25年播種から供試品種を「オカミドリ」から「ハルジマン」へ変更した。「ハルジマン」の平年値はないため、参考として下段に以前供試していた「オカミドリ」の平年値（平成18年～24年のうち、最凶年（2年目草地、3年目草地とも平成21年）と最豊年（2年目草地、3年目草地とも平成22年）を除く5ヶ年平均値）を掲載した。

## 平成28年度作況調査供試作物、品種および耕種概要

供試作物 および 品種名	1区 面積 (m <sup>2</sup> )	施 肥 量 (kg/10a)						栽植様式
		堆肥	炭カル	N	P <sub>2</sub> O <sub>5</sub>	K <sub>2</sub> O	MgO	
1. サイレージ用								畦間72cm
とうもろこし	11.5	4,000	300	8+4	20	6+4	3	株間18cm
「たちぴりか」								7,716本/10a
2. 牧 草								
(1) 採草型								
TY「ノサップ」	14.0	4,000	300	7	24	15	9	30cm条播 播種量 2kg/10a
		-	-	10	12	22	5	
(2) 放牧型								
OG「ハルジマン」	14.0	4,000	300	7	24	15	9	30cm条播 播種量 2kg/10a
		-	-	10	12	22	5	

1) サイレージ用とうもろこしは、適応性検定試験の圃場。

2) 牧草は、2, 3年目草地を調査。採草型は年2回、放牧型は5回（各月1日）の刈り取り。

3) TY：チモシー、OG：オーチャードグラス。

4) 牧草の施肥量は、上段が造成年(1年目)、下段が2, 3年目草地を示す。